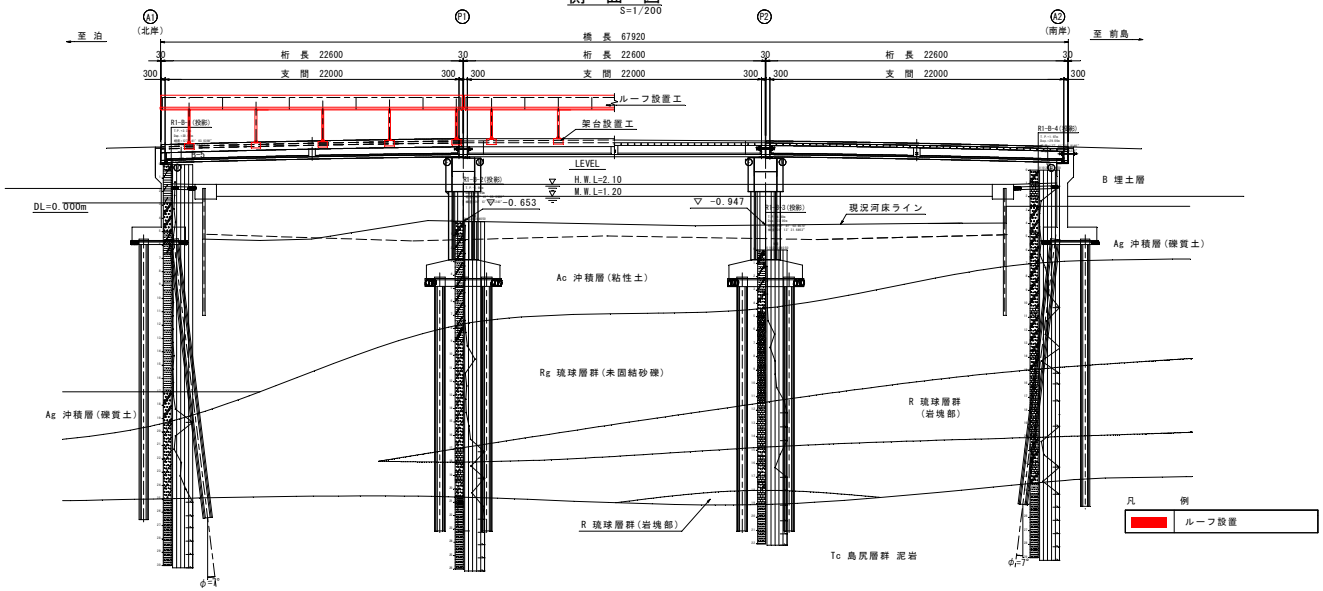
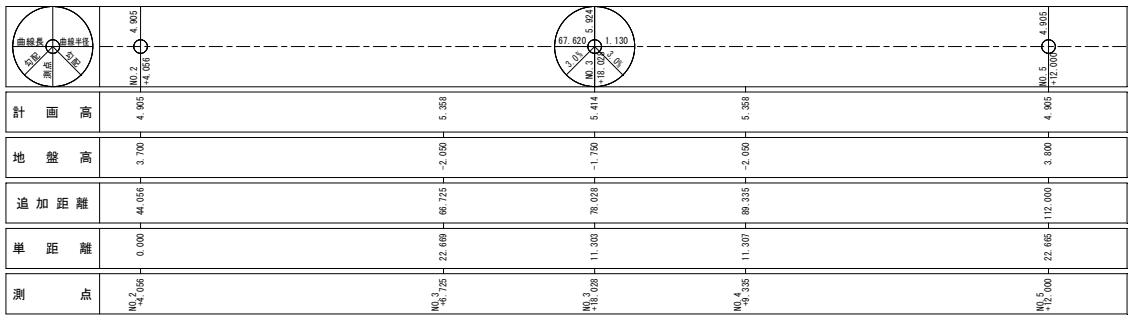
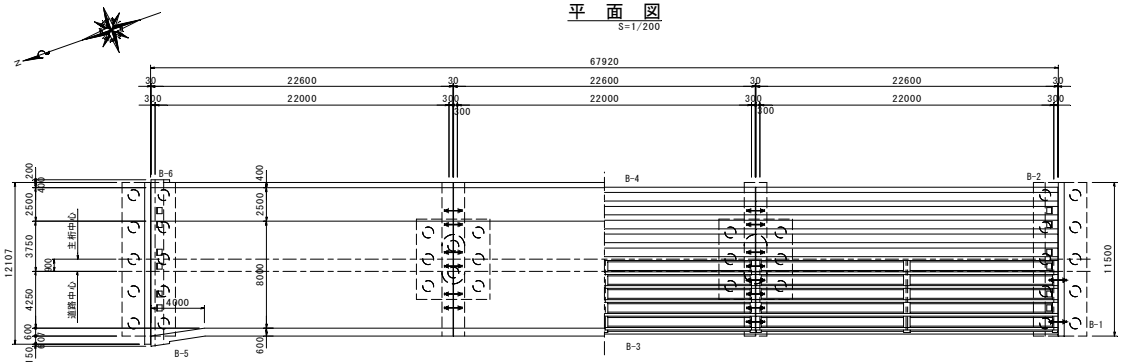
泊港橋一般図(その1)

側　面　図
S=1/200

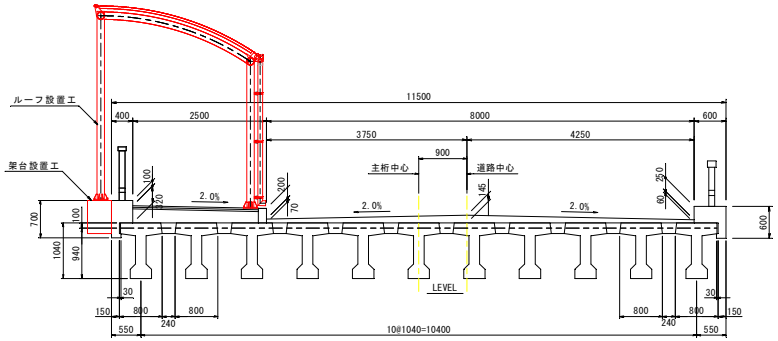




平　面　図
S=1/200



標準断面図
S=1/50



設　計　条　件					
基本事項	路線名				泊ふ頭内循環道路
	架橋位置				泊ふ頭内
	橋名				泊港橋
	設計業務名				H29泊港橋橋梁構造基本設計業務委託
	設計年月日				平成30年6月29日
	設計会社名				株式会社　ホープ設計
	適用示方書				道路橋示方書（平成24年版）
橋　梁基本条件	道路規格				臨港道路
	重要度区分				A種の橋
	設計速度				—
	橋長				67.92m
	桁長				3@22.6m
	支間長				3@22.0m
	幅員	全幅員			11.5m
		有効幅員			10.5m
	平面線形				∞
	縦断勾配				3.0%　　3.0% ノ ヘ
	横断勾配				車道：2.0%　歩道：2.0%
	斜角				90°00'00"
	形式	上部工			3径間プレテンション方式単純T桁橋
		下部工	橋台		逆T式橋台
			橋脚		T型橋脚(RC)
		基礎工	橋台		A1橋台(鋼管杭 φ700)、A2橋台(鋼管杭 φ700)
			橋脚		P1橋脚(鋼管杭 φ800)、P2橋脚(鋼管杭 φ800)
	塩害対策区分とその対策				S区分
	耐震性能	レベル1			耐震性能1
		レベル2			耐震性能3
	固有周期	地域区分			C地域
		レベル1	橋軸方向		—
			橋軸直角方向		—
		レベル2	タイプⅠ 橋軸方向		—
			タイプⅠ 橋軸直角方向		—
			タイプⅡ 橋軸方向		—
			タイプⅡ 橋軸直角方向		—
	設計水平震度	レベル1	橋軸方向		0.18
			橋軸直角方向		0.18
		レベル2	タイプⅠ 橋軸方向		0.36
			タイプⅠ 橋軸直角方向		0.32
			タイプⅡ 橋軸方向		0.43
			タイプⅡ 橋軸直角方向		0.32
	地震時に損傷させる部材				—
	支承条件	支持条件	橋軸方向		A1(可動)、P1(固定、可動)、P2(固定、可動)、A2(固定)
			橋軸直角方向		A1(固定)、P1(固定)、P2(固定)、A2(固定)
		支承形式			ゴム支承
		許容せん断ひずみ			—
	落橋防止システム	落橋防止構造			有
		橋変位拘束構造			—
	伸縮装置				荷重支持型　ゴムジョイント
	防護柵形式				歩道：高欄(種別不明)　車道：車両用防護柵(種別不明)
荷重条件	設計活荷重				A活荷重
	単位重量				SI単位系(KN/m³)
	付属物（添架壁等）				なし
	添架物				—
地形-地質-地盤条件	支持層				砂岩～泥岩
	地盤種別				A1(Ⅱ種)、P1、P2(Ⅱ種)、A2(Ⅱ種)
	地盤の液状化	液状化の有無			不明
		液状化層（低減係数DE）			—
材料の条件	使用材料	上部工	鋼材		鉄筋：SD295　PC鋼材：内ケーブルSWPRA(1S12.4) 横締ケーブルSWPR19(1S17.8)
			コンクリート 主桁 形式		単純床版、片持床版
			コンクリート 主桁 材料(コンクリート、鋼材)		コンクリート：50N/mm² 鉄筋：SD295
			コンクリート 場所打ち 材料(コンクリート、鋼材)		コンクリート：30N/mm² 鉄筋：SD295
		下部工	コンクリート 設計基準強度		21N/mm²
			鉄筋		SD295
		基礎工	コンクリート 設計基準強度		21N/mm²
			鉄筋（鋼材）		SD295
	防食	防食仕様			鉄筋：— PC鋼材：—
		防水層			歩道：—　　車道：—
施工の条件	施工方法	架設工法			—
維持管理の条件	検査路設置位置	上部工			—
		下部工			—
	点検方法	主桁			橋梁点検車
		支承部			橋梁点検車
		下部工			橋梁点検車、船上